

令和7年度

乳幼児における体格および食環境の実態調査と食育推進への発展

【兵庫県立大学 環境人間学部 分子制御栄養学研究室

（連携課：こども保育課、学校指導課、幼保連携政策課、健康教育課、こどもの未来健康支援センター）】

研究の目的（背景・課題・意義）

近年、保護者の生活形態や就労形態の変化等に伴い、教育・保育施設で過ごす時間が長期化している子どもも多く、教育・保育施設は生活の場となっている。そのため施設で提供される食事は乳幼児の心身の成長・発達にとって大きな役割を担っている。最近では、誤飲や誤嚥事故、食物アレルギー、発達障害などで食事の提供に配慮を必要とする子どもの割合が増加し、乳幼児期における食事管理が高度化している。また、乳幼児期の”やせ”や”肥満”が大人になってから生活習慣病の発症率とも密接に関わっていることが報告され、乳幼児期の栄養の重要性がますます高まっている。

このことから、乳幼児の食事に対して充実した対策と整備が急務であり、子育て政策の充実が課題である。本研究では、子育て政策の一環として食事・栄養面からのサポート体制を築くことを目的とする。

研究内容・主な実施計画

令和7年度計画

①兵庫県の市町別の成長期の身長・体重のデータ収集

- ・ 体格指数の評価、年次推移、各年齢別データ解析により、地域別の成長度の違いを明らかにする。
- ・ 地域別の成長の違いの原因を調査する。

②姫路市内における姫路市教育・保育施設調査（標本調査）

- ・ 4月：アンケート調査票作成・発送（6-7月回収）
- ・ 8-12月：データ解析

③乳幼児における食事の提供をめぐる保護者アンケート

- ・ 9-10月：アンケート調査票作成・発送（10月末回収）
- ・ 11-翌3月：データ解析

④管理栄養士による栄養指導、講演、食育活動の実施

啓発ポスターの作成など

姫路市において、一貫した食育活動推進
をおこなえる食環境づくり



- ✓ 食に関わる事故防止
- ✓ 学習能力の向上
- ✓ 生活習慣病予防

